

第10回 町長定例記者会見

- 開催日時 平成28年9月2日（月）午前10時～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 3人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

はじめに、8月17日の台風7号から引き続き、前線や熱帯低気圧、さらに台風11号、9号の影響により、断続的な大雨になることが予想されたことから、8月21日に「遠軽町大雨災害対策本部」を設置し、危険箇所の巡視を行うとともに、住宅被害防止のため、土のうの設置など、被害を最小限にするため対策を講じてまいりました。

幸い、人命に関わる大きな被害はなかったものの、道路や河川、橋梁、公園などに洗掘や一部崩壊、土砂堆積などの被害があり、現在、復旧に向けて対応しているところであります。

このうち、大きな被害を受けた森林公園いこいの森につきましては、キャンプ場や遊具の大部分が使用できない状況となっておりますが、雨宮21号につきましては、明日9月3日から被害のなかった軌道を利用して折り返し運転を行うほか、丸瀬布温泉やまびこ、昆虫生態館、郷土資料館は通常どおりの営業を行っております。

なお、河川の増水により、道道「上武利丸瀬布線」が通行止めとなっております。丸瀬布上武利地区に行く際は、大平高原を経由するルートにう回していただくことになります。

次に7月30日にご逝去された、遠軽町名誉町民 故石井孝一氏 葬儀を石井家・遠軽町合同葬として、8月4日、5日に執り行いました。

合同葬には、両日合わせて約800人の参列や多くの供物や供花のお供えがあったほか、武部新衆議院議員、高橋はるみ北海道知事、遠藤連北海道議会議長、遠軽町職員OB会を代表して北川健司前遠軽町長から弔辞が述べられました。

故人の数々の御功績に対し深く感謝するとともに、心から御冥福をお祈りいたします。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

■遠軽町議会9月定例会議案から

9月7日から、遠軽町議会定例会が開会されます。議案の中から、主なものについてご説明申し上げます。

・デマンド型乗合タクシーについて

生田原地域におきまして、住民の生活に必要な移動を支援していた「NPO法人過疎地有償運送生田原交通サポート」の廃止に伴い、町営によるデマンド型乗合タクシーを運行するものであります。

このタクシーは、生田原地区と安国地区を対象とし、利用希望者は登録を行い、事前予約により運行するものであります。利用料金は定額で、利用者が複数の場合は乗り合わせでの運行となります。9月1日から29日までの間のうち11日間、生田原地区で無料の試験運転を行い、10月1日の運行開始に向けて準備を進めており、関係条例の制定についての提案と補正予算を計上しております。

・(仮称) えんがる町民センターの建設について

文化ホールの機能を持った福祉センターの建て替えにつきまして、他の公共施設の名称を考慮して、仮称を「えんがる町民センター」といたしました。

現在、予定地の買収に向けて交渉を行っておりますが、このたび、コミュニティ駐車場及び旧遠軽中央病院跡地など、大部分の用地について目途がついたことから、基本設計と実施設計を行う経費を計上しております。

次に、その他の件についてであります。

■遠軽厚生病院産婦人科について

すでにご承知のとおり、遠軽厚生病院産婦人科に医師が着任し、8月22日から診療を開始しております。

これに先立ちまして、医師から8月18日に着任のご挨拶を受けたところであり、お話の中で、診療の際には助産師等の医療スタッフとのコミュニケーションが大事だということから、診療方針等について十分に打ち合わせを行いながら、10月からの分娩再開をめざしているということでもあります。

なお、遠軽厚生病院によりますと、早速、町民から受診や里帰り分娩について、問い合わせがあると報告を受けているところでありまして、私の方にも住民の方から再開についてのお手紙をいただいているところでございます。

また、従前からの旭川医科大学からの出張医などによる診療につきましても、継続して行っていたけるとの報告を受けております。

地域住民の方々にも大変ご心配をおかけしているところではありますが、ひとまず、地元で出産できる体制が整ったものと安堵しているところでもあります。しかしながら、一人の医師では、まだまだ体制が不十分であるため、今後も引き続き産婦人科医師の確保並びに地域医療体制について、しっかりと枠組みを組めるように取り組んでまいります。

■JR石北本線について

6月にJR北海道から、網走・札幌間を1日4往復している特急オホーツクについて、平成29年春のダイヤ改正に合わせて、一部の運行を網走・旭川間に短縮したい旨の説明がありました。

これを受けまして、8月9日にオホーツク圏活性化期成会において、特急オホーツクの運行体制維持につきまして、JR北海道、北海道運輸局、北海道、北海道議会に対して要望活動を行ったところでもあります。このような中、8月31日にはJR北海道の関係者が来町し「持続可能な交通体系のあり方」について、今後相談をしたいとの説明を受けました。この中で、今後JR北海道から単独で維持可能な線区と維持困難な線区についての考え方が示されるとのことでありました。以前より、JR北海道から、石北本線は必ず守るとの話があったこともあり、町として今後とも北海道及び関係市町村とも連携し、運行区間の現状維持に向けて、JR北海道と十分に協議を進めてまいりたいと考えております。

また、前述の台風による大雨の影響で、上川～中越間で路盤流出により特急オホーツクが運休している状況であります。JR北海道では上川～遠軽間に臨時バスを運行し、普通列車と接続するとの発表がありましたが、旭川、札幌方面に向かう地域住民の大切な交通手段として、一刻も早い復旧を願うところであります。

■YESプロジェクトについて

湧別町、遠軽町、佐呂間町の3町で、地元食材を活用した特産品開発に向けて「YESプロジェクト推進会議」を2月に設立いたしました。

この会議による特産品開発事業の第1弾として、株式会社リクルート北海道じゃらんの紙面を活用した「今すぐ食べたい、うまいもの選手権」を、9月19日まで開催しております。

この期間中、3町から10店舗の参加店が、地域の食材を使った渾身の一品を提供していますので、この機会にぜひ地元食材を味わっていただくとともに、アンケート結果などをもとに、さらに特産品開発を進めてまいります。

■地域おこし協力隊事業について

遠軽町で4人目となる地域おこし協力隊員が8月1日付で着任いたしました。

着任したのは、山口県出身で大阪市より着任した遠軽町初の女性隊員であります 中野由里隊員で、一般社団法人えんがる町観光協会を拠点に活動します。

現在、準備を進めているロックバレースキー場周辺の道の駅整備や、近年、急激に増えているインバウンドの受け入れをはじめとした、さらなる観光振興に、新たな視点で活躍してくれることを期待するところであります。

■スポーツ合宿について

昨年度に引続き、実業団ラグビーチームのホンダヒートや拓殖大学、横浜隼人高校硬式野球部をはじめ、さまざまな競技の合宿が町内で行われました。本年8月末までの合宿団体数は、6競技に43団体1,168人となり、交流人口の増加及び地域経済の活性化につながったものと考えております。

平成29年4月には人口芝のラグビー、サッカー兼用コート2面を備えたスポーツ広場もオープンすることから、合宿を行う団体との交流によるスポーツ力向上、地域活動の活性化に向けて、今後も積極的に合宿誘致に取り組んでまいります。

なお、このスポーツ広場については、名称を「えんがる球技場」とすることで、本議会に提案いたします。

合宿に来ているチームにつきましては、各界トップ級のチームであります。経済の活性化もありますけれども、地元の教育、部活なり進学なりに相当頑張っているこの地域の遠軽高校、これをしっかりと維持するひとつの大きな推進力になっておりますし、これからもしっかりとやっていきたいと思っております。私どもの合宿については、北見や網走は非常にホテルの関係もあり、経済的な効果を狙ってであります。遠軽町は経済の活性化もありますが、そういった遠軽高校そして子どもたちの教育ということでやっているところであり、そのために施設整備も進めてきたということでもあります。

■太陽の丘えんがる公園虹のひろばコスモス園について

コスモス園のコスモスにつきましては、7月の天候が不順だったことから生育が遅れており、現在のところ入園料は徴集しておりませんが、これにつきましては、今後の開花状況を見ながら検討してまいります。

なお、11日(日)には、このコスモス園を舞台に、コスモスフェスタイベントを開催いたします。

今シーズンからイベントは一日のみの開催とし、今回はS T Vラジオの公開生放送を行います。恒例のコスモスコンサートには、優しい歌声と、圧倒的な歌唱力で魅了する「クリス・ハート」さんと、3月にAKB48を卒業し、演歌歌手として本格的に活動中の「岩佐美咲」さんが登場するほか、自衛隊音楽隊や遠軽がんぼう太鼓など、地元の皆さんもステージを盛り上げてくれます。

ご家族、ご友人と、秋のひとときをぜひコスモス園でお過ごしいただけますよう、皆様のお越しをお待ちしておりますし、特にこのクリス・ハートさんにつきましては、住民の皆さんから、非常に楽しみにしているという声も多く寄せられています。